

2024年7月吉日

東京都中央区銀座一丁目22番11号
銀座大竹ビジデンス 2F
一般社団法人 HappyHorseCreators

2023年度 活動報告書

はじめに

弊社は、2023年4月に法人を設立致しました。

「楽しく、正しい」馬事文化の普及、そして、人は馬から馬は人から様々な対価を受け、互いの生活が恒久的な豊かさに寄与することを目的として事業を行って参りました。

初めてのチャレンジばかりの1年でしたが、

協賛や寄付でご支援いただいている皆様、会員の皆様のご協力があり、

無事に1年目を締めくくることができました。心より御礼申し上げます。

各事業について、以下にご報告致します。

【1】活動報告

1)YouTubeチャンネル「おさむとなべ Next Challenge!!」の運営

この事業は、弊社の核となる活動です。

言葉だけでも、画像だけでもなく、映像だからこそ伝えられる馬との関係の築き方、馬と関わる面白さ、馬の様々な表情などを発信しております。

① 2023 年度配信の動画一覧

■ 現役厩務員が挑戦 人馬一体ホースボール！

あまり馴染みのない「ホースボール」ですが、引退競走馬のセカンドステージの1つです。現役厩務員が、乗馬をしながらの球技に初挑戦し、ホースボールの魅力、関わる人と馬に迫りました。



■ 目指せ厩務員！看護師からの転職

弊社代表渡部に出会い、馬の世界に引き込まれた女性を追いかけた映像です。看護師から厩務員への転職を決意し、競走馬育成騎乗者専門スクールへ入学し奮闘する姿や、競走馬育成牧場で働く姿を追いかけました。

馬業界も人手不足は深刻です。騎乗経験がほとんどない状態から、どのように競走馬の世界に入っていったのか、彼女に刺激を受け、馬業界を目指す方が1人でも増えることを信じています。



■ 憧れを胸に。頑張れコジュウコウサン！！

一頭のポニーが、現役騎手、厩務員、競馬関係者や新聞社まで巻き込んでレースに挑みます。馬が大好きで、ポニーと共に暮らす1人の男性が、そのポニーに脚光を浴びさせたい！と、障害競走馬のレジェンド、オジュウチョウサンを模倣して、ポニーの別名をコジュウチョウサンと命名。競馬場さながらの環境を整え、どんどん有名になっていくコジュウチョウサン！生活の中心に馬がいる世界を、映像を通して多くの方に届けています。



■ 有名乗馬クラブを取材！馬と馬好きの未来を切り開く活動

富山県（取材時は静岡県）にある、シャムロック乗馬クラブ様を取材しました。こちらでは、マンツーマンのビジター制のレッスンを提供されています。乗馬を習っているけれど、何故か上手くいかないという方にもってこいの場所です。さらに、YouTubeにも力を入れられ、乗馬や馬にまつわるあれこれを多角的に情報発信されています。乗馬クラブと言っても、運営する人、環境、大切にしていることは様々です。弊社が自信を持ってご紹介する乗馬クラブの1つです！



馬と正しく関われる人、馬の世界で働く人を増やすためには、
まずは馬を好きな人を増やす必要があります。
そのため、様々な角度から「馬」にスポットを当てた映像を制作しています。

② 登録者数

2024年4月18日現在 2121名
(2023年4月18日より、659名増加)

2)オンラインコミュニティ「しゃべり馬」運営

この事業は、楽しく正しい馬文化普及のため、会員を募り、
「寄付・学び・活動参加」という3本柱で運営しております。

① 寄付

毎月いただく会費を、弊社の運営資金として活用しております。
目に見える形での会費運用として、会員様との協議の上、
2023年12月に、引退繁殖牝馬に馬着を贈答致しました。

② 学び

■オンラインチャット

リアルタイムで、馬への疑問、会員様自身の課題などを質問できる場を設けています。
また、コミュニティは常に開けた状態のため、乗馬レッスン後に沸いた疑問点や、
馬との関りでの困りごとなどをいつでも書き込みができ、随時アドバイスを行っています。

■勉強会

テーマに沿って、馬のあれこれを学ぶ機会を設けています。

2024年1月～4月に実施した勉強会のテーマは、常歩。

現役厩務員だからこそ話せる、経験に基づいた内容、そして、技術を高める前に必要な、馬との関わり方の基礎をお伝えしました。

4月には、総復習として、実際に馬を目の前にした実地勉強会を行いました。

(※年度をまたいで実施したため、4月の実地勉強会もここで報告致します)

《参加者の感想》

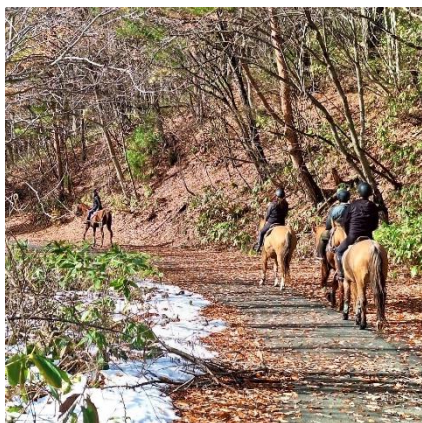
- ・教わったことを理解するのに、時間はかかると思いますが、馬が伝えようとしていることを、寛容に受け入れられるようになりたいと思いました。
- ・いかに馬の注意を自分に向けさせられるか、自分と馬との間のルール作りと実践が大切だと感じました。
- ・乗馬を始めた頃は馬に会えることが嬉しく、馬にたくさん話しかけていた記憶があります。しかし、いろいろと慣れてくると、コミュニケーションが手薄になり、馬に失礼な接し方をしてしまっていたのではないかと気づきました。
- ・言葉を話せない馬だからこそ、たくさん話しかけてどんな反応をしてくれているか読み取りアプローチを変えたりしてすこしずつ距離を縮めることができれば、今よりもっと馬に接する時間や乗ることに楽しみを感じるようになるのではないかと思います。



■会員イベント

2023年 9月 コジウチョウサンとの触れ合い及び引退競走馬の手入れ講習

2023年 12月 ゼンライディングクラブ外乗



弊社では、「1人1人がHappyHorseCreator」と会員様にお伝えしています。
幸せな馬をつくるための人材確保にも、人手が必要です。
学んで終わりではなく、身に着けた考え方、知識を他者に伝えていく人材が
増えることを目指し、上記活動を継続していきます。

③ 活動参加

「1人1人がHappyHorseCreator」という考えのもと、
弊社の主軸である YouTube 動画の企画や、グッズ制作にも会員様に関わっていただく
というものです。

1周年記念グッズを皮切りに、会員様と共につくりあげる機会を増やしております。
そして、1人では困難な支援や普及活動も、多くの人のチカラが
集まることで実現できることを発信しています。

3)啓発活動

馬への関心を高め、馬事文化普及、
引退競走馬支援活動の認知度向上のために啓発活動を行っています。

① 講演、各種イベントへの参加

■フリーダムライディングクラブ（FRC）定例会(2023年5月)

馬業界の様々な方々をゲストに開催されている定例会の第188回目に
呼んでいただきました。FRC様は、「自由に馬に乗ろう」をテーマに、人種、性別、
年齢を問わず、世界中で馬乗りの輪を広げる活動をされています。
定例会では、弊社設立の理由や、馬業界の課題、目指す未来などをお伝えしました。



■ラヂオつくば(2023年12月)

「あの人に学びたい」をテーマに、地域で活躍する人に話を聞く番組です。
茨城県＝「馬」と結びつく方はどれくらいいるのでしょうか？
弊社代表が厩務員になった経緯や、弊社の取り組み、今後についてお話ししました。



■ うまんまパーク「うまバ祭」(2023年12月)

引退競走馬の繁養、競走馬の育成を行ううまんまパーク様のイベントにて、トークショー及び子供向けのお手入れ講習会を行いました。

トークショーは、藤沢和雄元調教師と共に、ファンの皆様からの質問にお答えしたり、藤沢元調教師より、馬業界、競馬界についてお話いただきました。

さらに、Cygames様のご協力も得て、うま娘の等身大パネルを設置し、うまんまパーク様の過去最高の来場者数を叩き出しました。様々な団体、個人の働きがあって実現したイベントでした。

競馬ファン、うま娘ファンなど、馬業界に興味を持つ入口は様々です。広く一般に馬の魅力を伝えるため、様々な角度での活動を続けていきます。



■角居塾引退馬支援勉強会(2024年1月)

角居勝彦元調教師が定期的で開催されている勉強会にて、

弊社の活動を報告させていただきました。

角居元調教師をはじめ、既に馬に深く関わっている方、

馬業界に興味を持ち情報を集めている方など、約50名が参加されていました。

認知度をあげるための定期的に参加していきます。

■ホースメッセ TOKYO2024(2024年2月)

藤沢和雄元調教師とのトークショー「HappyなHorseのつくりかた」及び

日本ホースボール協会様とコラボレーションし、馬の手入れ講習を行いました。

トークショーには、当日の有料講座の最大人数160名がお越しくださいました。



1年目は、弊社の活動を多くの方々に知っていただくことに注力しました。

馬業界の方に知っていただくことで、同じ方向を向く団体同士が協力しあい大きなチカラとなり、お金や更なる人脈を生みます。

一般の方に知っていただくことは、馬という存在を身近に感じ、馬業界の課題を知り、馬と関わるとはどういうことかに気づいてもらうことができます。

その結果、人材、資金不足という課題の解決に繋がると信じています。

② SNS 投稿

Instagram、Facebook、Xにて

活動報告及び馬にまつわる様々な記事を掲載しております。

※Instagram 登録者数 過去 90 日間で 88 名増加(2024 年 5 月時点)



③ グッズ販売

■オリジナルカレンダー販売

2023 年は「おさむとなべ」をテーマに、

全国各地での外乗の様子をカレンダーにしました。

2024 年は「馬との様々な関わり」をテーマに、

馬と散歩、レッスン、お手入れなど、様々な情景を散りばめました。

■コラボアパレルの販売

売上の一部を人参に換え、養老牧場、大学馬術部等に寄付されている

HAYLIFE 様とのコラボレーション企画として制作、販売を行いました。

オリジナルデザインの T シャツを制作し、JRA ジョッキー松岡正海氏に

着用モデルを依頼しました。

また、弊社の活動は、元調教師で JRA アドバイザーを務められています

藤沢和雄氏に賛同いただいております、こちらの T シャツも着用いただきました。

売上は、弊社活動の運営費として活用しております。

馬を好きになる入口は人それぞれです。

馬グッズもその 1 つだと考えており、今後も魅力的なアイテムを企画し、

馬が好きな人に届くよう進めて参ります。



【2】今後の動き、計画

1年目の定量実績としまして、YouTube登録者数が年間659名増え、馬に興味関心を持つ人の増加に微力ながらも貢献できたと考えております。

定性実績としまして、オンラインコミュニティにて、馬との関わり方の基礎を、繰り返し会員様にお伝えしてきました。それにより、馬に敬意を持つことを理解した上で接する意識を持っていただけたように感じております。また、協賛金を9団体(個人含む)からいただくことができました。弊社を信用し、ご賛同いただいたこと大変感謝しております。

2年目は、上記活動の継続と共に、「有名馬が無名馬を救う」をテーマにしたアパレル事業も本格的に始める予定です。

とは言いましても、まだまだチカラが足りません。持続的に活動し、そのスピードをあげるためには、協賛いただける方々が増えること、編集用パソコンなど必要機材を準備することなどハード面、ソフト面ともに強化していく必要がございます。弊社スタッフは全員、他の仕事と掛け持ちをして活動しているため、現状スピードはゆっくりです。しかし、確実に信用を積み重ね、活動を継続することで、馬好き、そして正しく楽しく馬と関われる人材の増加に貢献していく所存です。

引き続きのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

